

「主体的に表現する児童の育成」

～小集団における主体的・対話的で深い学びの実現を通して～

I 研究の内容

1 研究の具体的内容と方法

- (1) **授業づくり**・・・学力の実態把握と少人数や集団における効果的な学習方法と授業実践
- ・NRT 検査，全国学力・学習状況調査を分析して，学習面の成果を把握し，課題を明確にして今後の授業改善に生かす。
 - ・各種調査で明らかになった児童の課題を改善するための効果的な学習方法の実践をする。
 - ・指導主事を招聘しての授業研究の実践と一人一実践の取組。(11月までに。年間研究計画に入れる)
 - ・講師を招聘しての研修。「小集団における対話的な学び」の効果的な学習方法について
 - ・少人数や小集団，個を生かした「対話的な学び」の実現のための授業実践と検証。(コミュニケーション，ICTの活用も含む)
 - ・甲州市 Teacher's Note の活用
 - ・学力プロジェクトの3つの部会の取り組みの実践と活用
 - ・めあてと目的を明確にした一人一実践
 - ・授業における ICT (iPad, edutab, TV 会議システム等) の効果的な活用
- (2) **学級集団づくり**・・・児童の実態把握と集団づくり
- ・hyper-QU を生かした児童理解と集団づくり。PDCA サイクルを活用。
 - ・K13 法を用いた hyper-QU の結果分析とアタックシートを活用した集団づくりを行う。児童一人一人を丁寧に見とり，個を大切にする。
 - ・アタックシートの対応策には，学年全体だけでなく，要支援群に属する児童や，プロット的位置が教師の見とりと違う児童を中心に置いた策も考える。
 - ・全体で K13 法を使って分析・考察を行う。
- (3) **学びを促す環境づくり**・・・学校生活の基盤づくり
- ・「大藤スタンダード」「家庭教育・子育て Q&A・家庭学習の手引き」「学習のすすめ」を活用した家庭学習の効果的な実践の取組。
 - ・5つの合言葉の具体的な場面での取組を実践。学年に応じた「大藤スタンダード」の徹底。
〈わくわくべんきょう〉・・・勉強のスタートは，驚きや疑問，楽しく学ぶ。
〈のびのびとうこう〉・・・何事も夢中とする。徹底してする。
〈みんななかよし〉・・・いじめや仲間外れを生まない集団でしよう。
〈にこにこあいさつ〉・・・あいさつ，返事をしっかりする。

《いきいきかつどう》・・・自ら考えて行動する。自分で決めて、自分で守る。

・家庭学習定着を図る環境整備

- ①「ふじっこノート」(自学ノート)の年間を通しての実施をする。
- ②家庭学習スタンバイの時間を帰りの会の前にとる。
- ③家庭学習と授業を有機的に結びつけ、知識探求や学習の復習をする。
- ④ノートが終わったら、校長先生にも見てもらう。校長室前に積んでいく。
- ⑤ふじっこノートをコピーして、1年教室の廊下に学年ごと掲示する。
- ⑥毎週水曜日の朝学習は、1年廊下の算数プリント、金曜日は、漢字プリントを行う。
個々の能力に応じて、目標を設定し、計算の基礎・基本の力を付け、計画的に学習を進める自主性を養う。
- ⑦「大藤スタンダード」に基づき、生活面や学習規律の統一を行う。

2 研究実践

(1) 研究授業 第1・2学年 体育科 「マット遊び」 授業者 中村千春
指導・助言 教育庁保健体育課 山本晃司 主幹 指導主事

(2) 一人一実践

第1学年	道徳科	授業者	相澤 由佳
第4学年	算数科	授業者	中村 亜矢子
第6学年	算数科	授業者	堀内 美紀
なかよし	1学年 国語科	授業者	川崎 剛

II 成果と課題

(成果)

- ・山梨大学の清水宏幸先生を招聘して「主対的・対話的で深い学び」について学習をし、主体的・対話的で深い学びをめざすため、子どもたちにどのような授業を展開すれば良いのか、授業改善の工夫について学ぶことができ、その後の研究に繋げることができた。
- ・研究授業により、児童が主体的に表現できる場の設定や、教師の発問の工夫について意見交換でき授業改善に役立てることができた。また、主幹指導主事の山本晃司先生より、体育科における「主体的に表現する児童の姿」について全体で共通認識できた。また、一人一実践についてお互いに授業を見合うことで授業改善に役立てることができた。
- ・職員全体でK-13法を用いたQ-Uの結果分析ができたことが良かった。自分のクラス以外の児童にも、個に応じた指導を行うことができた。

(課題)

- ・子どもたちのどのような姿を「対話的な学び」としてよいのか、明確でなかったため、実態に合わせた姿を教師側で見取るのが難しかった。
- ・「対話的な学び」を取り入れた授業に於ては、「活動あって学びなし」にならないことが大事だと思う。分析・考察を生かして、更に研修を深めたい。

III 成果物

- ・Q-U検査の分析結果、アタックシート
- ・全校プロット図(2回分)
- ・児童の実態調査
- ・研究授業の指導案
- ・NRT検査の分析結果
- ・一人一実践指導案